

愛知県(県域)

1 産地の概要

<対象品目> バラ
<産地の現状・課題>

バラは植物全体が商品であることから防除圧が高く、化学農薬による防除作業が大きな負担となっている。

バラの最重要病害である「うどんこ病」は、耐性菌の出現により防除が年々難しくなっている。

そこで、イチゴでうどんこ病防除に有効とされたUV-B照射について、バラに発生するうどんこ病に対する防除効果を実証し、減農薬技術として確立する。

2 検討体制

<愛知県組織と関係機関等の役割>

- ・ 農業経営課(事務局)
- ・ 農業革新支援センター(事業のコーディネート、技術指導、栽培マニュアルと産地戦略の作成)
- ・ 普及指導センター(実証ほの運営管理、調査、技術指導、栽培マニュアルと産地戦略の検討)
- ・ 農業総合試験場園芸研究部(試験方法に関する助言)
- ・ JAあいち経済連(技術支援、検討会の参加)
- ・ JA(農業者との調整、調査補助)
- ・ 農業者(実証ほ管理、技術の検証)



うどんこ病



UV-Bランプ設置状況



防除マニュアル

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学農薬の使用量低減	病虫害管理	<取り入れる技術> UV-B照射によるうどんこ病防除技術
		<見込まれる効果> うどんこ病の発生量が低下し、化学農薬の使用回数及び使用量を削減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
病虫害管理	<取り入れる技術> UV-B照射によるうどんこ病防除技術
	<見込まれる効果> UV-B照射技術の導入により、化学農薬の使用回数を慣行から3回削減する見込み

4 活動内容及び今後の展開

<活動内容>

- ・ 実証ほを3地域6カ所に設置
- ・ 照射間隔、適正なUV-B照射強度を推定
- ・ UV-B照射によるバラうどんこ病防除マニュアルを作成

<今後の展開>

- ・ 生産者への認知度向上
- ・ 経年調査による防除マニュアルの内容強化
- ・ 普及拡大に向けた各種取組